

<学校関係者評価委員会>

1. 日時：令和3年2月26日(月) 第3回学校関係者評価委員会開催
2. 出席者：評価委員10名 学校職員3名
3. スケジュール
 - 1) 挨拶
 - 2) 学校自己評価 報告
 - 3) 質疑応答
4. 評価委員からの主な意見

学校運営	職場の環境づくりに活かしてほしい。コロナの影響でオンラインやリモートで授業や実習をされ努力されたことがわかった。学生だけではなく、教員の心理的負担も計り知れないと察している。学校の活動を知ることができた。学生の評価が例年と変わらず高かった印象。学生のニーズに工夫して取り組まれた結果ではないか。
教育活動	環境的にも学習面でもフォローアップをお願いしたい。 いろいろな学校の取り組みやその他の卒業生も含めて評価をしてよりよいところを取り入れながら、現場にでた学生も評価していくことも大事ではないか。 オンラインを通じたイベントで学生に興味をもってもらい、発展すること祈っています。
学修成果	コロナ状況下で今年は臨地実習が少なく、現場に出るのが不安に思っている学生が多くいると聞いている。戸田の学生は実習や教育環境に恵まれたのを強みに現場で頑張してほしい。
学生支援	アンケートの学生支援の評価が高かった。コロナこの学校でも学んでいけるという安心を得られた結果ではないか。
教育環境	感染指導を引き続きお願いしたい。 学生はコロナに感染することがなくてよかった

5. 総括及び次年度の課題

報告については、学校の運営、教育活動を理解できる内容だったと評論を頂いた。コロナ禍において、アンケートは前年度と大きく変わらない結果だった。概ね、運営、教育活動に問題はないといえる。上記意見から、現状の取り組みの成果を評価・修正することは、コロナ禍であって得られた新たな教育方法を活用し、教育の質の向上をめざしたい。